農業用排水施設の整備により湛水被害を軽減

【和歌山県和歌山市（わかやま）】

【対策のポイント】

○ 近年の都市化の進展による流出形態の変化に起因し、農業用排水施設の排水機能の低下により、地域で湛水被害が発生。

○ このため、3か年緊急対策において、排水機場及び排水路の改修を実施。

○ 事業実施により計画基準降雨における被害想定額及び湛水想定面積が減少。

【取組地域の概要】

○位置

和歌山県和歌山市（わかやま）

○ 主要作物

・水稲、大豆、なす、ねぎ　等

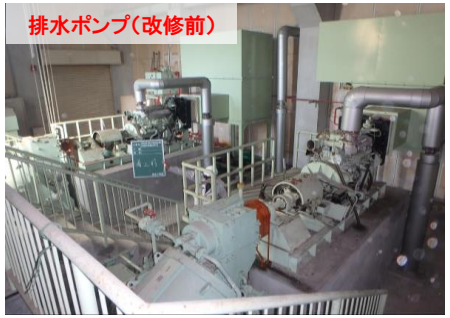
事業名	事業費	対策期間
国営総合農地防災事業	456億円	―
うち3か年緊急対策	8.2億円	H30～R2

基盤

農業用排水施設の排水能力を確保

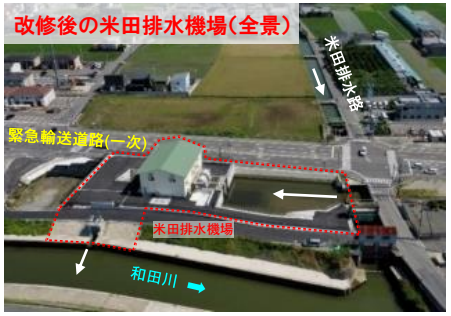
○ 地区内の排水能力を確保するため、3か年緊急対策により「米田排水機場」の改修を実施。本事業で既に整備済みの「米田排水路」と併せて排水能力を確保。

➢ 排水ポンプ能力：「3.67m³/s」⇒「4.50m³/s」に変更



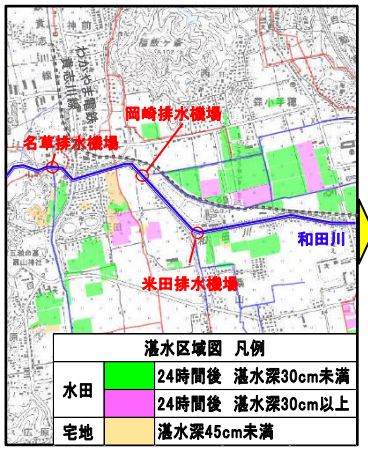
基盤整備

（H30～R２）

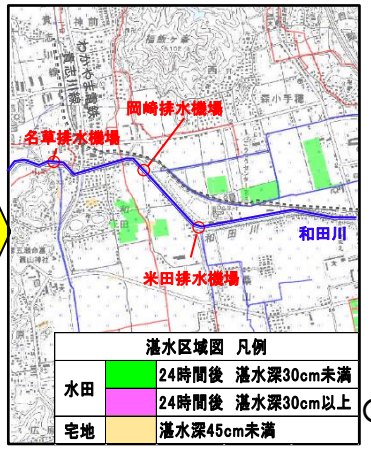


対策の効果

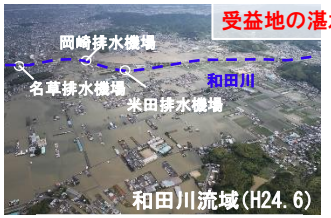
事業の実施により湛水被害を軽減

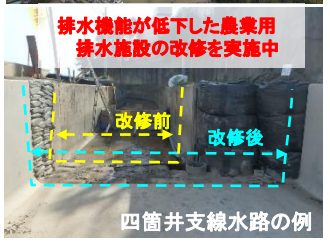


事業実施前の湛水区域図
（1/10確率）



事業実施後の湛水区域図
（1/10確率）





○ 事業により農業用排水施設の機能回復が図られ農作物・家屋等の湛水被害約560億円(※)が軽減。

※1/10確率降雨（3日連続雨量：254㎜）における試算結果